

地域情報通信基盤整備推進交付金事業 事後評価表

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業								
市町村名		常陸太田市			所管部署		情報政策課			
事業の概要		事業年度		H21年度(補正)		事業完了日		平成23年3月4日		
		総事業費		522,683千円		交付金額		174,227千円		
		整備対象地域		常陸太田地区の一部(佐都地区, 河内地区), 金砂郷地区, 水府地区, 里美地区の全域						
		事業の内容								
		<p>常陸太田市は平成16年12月1日の市町村合併により山間部を含めた広大な市となったが、FTTHによるブロードバンドサービスが利用できる地域は市街地周辺であり、市内の情報格差是正が懸案となっていたことから、常陸太田地区の一部(佐都地区, 河内地区), 金砂郷地区, 水府地区, 里美地区の全域において、光ファイバ網を敷設。敷設した光ファイバ網を電気通信事業者に対し、貸付(IRU契約)を行う公設民営の方法により、通信事業者による超高速インターネット接続サービスを可能とし、情報通信の格差是正を図った。</p>								
BB	サービス開始日		平成23年3月15日							
	サービス形態		公設民営(IRU)							
	契約先		東日本電信電話株式会社							
	\		整備計画時の目標		実績					
	\		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末	
	整備地域の世帯数		7628	7630	7583	7578	7561	7527	7517	
	加入世帯数		1068	1526	1923	2549	2969	3232	3467	
加入率(%)		14%	20%	25.4%	33.6%	39.3%	42.9%	46.1%		
評価及び課題		<p>【評価】 整備計画時に目標としていた加入率20%を大きく上回っており、市内の地域間情報通信格差是正にある程度の効果が見られた。</p> <p>【課題】 加入率は事業開始から順調に伸びているものの、高齢化の進行やスマートフォンの普及などが原因で月額利用料を負担に感じる世帯が増えていることが現状である。今後は未加入世帯に対しての効果的な加入促進を検討する必要がある。</p>								